

# 西光寺だより

第四十四号 平成二五年 四月一日発行

四月に入りすつかり春めいてまいりました。桜の便りが次々に聞かれるこの季節は、外出するのも楽しくなってきました。桜の名所に訪れ、お花見をするのもこの時期ならではの楽しみかたですね。

桜にも種類が様々あり、日本での桜の八割近くがソメイヨシノだといわれています。二週間足らずで散りゆく花ですが、多くの方々の手で植えられ、大切にされてきたのは、日本人の心を捉えて離さないその美しさゆえなのでしょう。

一方、野生の桜を代表する山桜は、ソメイヨシノとはまた違った佇まいを見せてくれます。奈良県の吉野山は昔から山桜の名所として有名ですが、田舎の名も知らぬ山々に転々と咲く山桜の景色もとても美しいものです。山緑の中から見えるその淡い桜色は、まるで山全体をふんわりと優しく包みこんでいるようです。そして、春風に乗って遠くで眺める私たちのもとまで運んでくれているように感じます。

山桜は、ソメイヨシノのように観賞用につくられた花ではありませんが、そこに咲くだけで山の色も人の心も優しくしてくれるのです。私たちも、ここに在るだけで周りをあたたく包み込む人間であれたら良いですね。山桜は、その樹齢つきるまで咲くべきときに花開くよう活動しつづけますが、わたくしたちはどうあれば良いのでしょうか。それは、きつと「慈しみの心」を持ち続けることではないかと思えます。幼子が、花を摘むとき「お花さん、痛かったね。ごめんね。」と呟いた話を聞いたことがあります。これこそがすべての生命に対する「慈しみの心」なのではないかと感じます。

わたくしどもも「慈しみの心」を育み、優しさという花とともに咲かせてまいりましょう。



## ◆ 四・五月の行事 ◆

・ 四月 八日 (火)

花まつり 午後二時～

西光寺本堂

・ 四月 二十三日 (水)

茨木東組第六期連続研修会 第三回

専念寺

● 今月のことば ●

先月に引き続きまして讚仏偈について学びたいと思います。

仮使有仏

たとえ多くの仏がたがおいでになり

無量大聖

ガンジス河の砂のように数限りないとしても 『大聖』は『仏陀』

数如恒沙

それらすべての仏がたを

供養一切

残らず供養したてまつるより

不如求道

ひるまずひたすら励む方が

譬如恒沙

ガンジス河の砂の数ほどの

復不可計

はかり知れないほどの

光明悉照

私の光明はその全てを照らして

如是精進

おこたることなく励んで

令我作佛

私が仏になるときは

其衆奇妙

住む人々は徳が高く

國如泥涅

涅槃の世界そのもののように

我當哀愍

私は哀れみの心をもって

十方来生

さまざまな国から私の国に生まれたいと思うものは

百千億万

その数は

斯等諸仏

固い決意でさとりを求め

堅正不却

功德はさらに勝るであろう

諸佛世界

仏がたの世界があり

無数刹土

数限りない国々があるとしても

遍此諸國

至らないところがないように

威神難量

すぐれた光明をそなえたい

國土第一

國土を最も尊いものにしよう

道場超絶

さとりの方も超えすぐれて

而無等雙

並ぶものなく優れた国にしよう

度脱一切

すべての人々を救いたい

心悅清淨

みな喜びに満ちた清らかな心となり

快樂安穩

みな快く安らかにさせよう

幸佛信明

願わくは 師の仏よ この志を認めたまえ

是我真證

それこそ私にとって真の証である

力精所欲

必ず果たしとげないではおかない

智慧無礙

完全な智慧を備えておいでになる

知我心行

私の志を心にとどめていただく

假令身止 諸苦毒中

たとえどんな苦難にこの身を沈めても

我行精進

さとりを求めて耐え忍び 修行に励んで

忍終不悔

決して悔いることはない

南無阿彌陀仏(念仏五回)

阿彌陀仏にまかせよ、必ず救う。

願以此功德

願わくはこの尊い功德をもって

同發菩提心

もろともに信心をおこして

已到我國

私の国に生まれたなら

發願於彼

私はこのように願をたて

十方世尊

さまざまな仏がたはみな

常令此尊

いつもこの仏がたに

平等施一切

すべてのものに与え

往生安樂國

安樂國に往生しよう

以上で讚仏偈の学びを終了させていただきます。次は重誓偈について学びたいと思いますので、よろしくお願い致します。

## ◆先月の報告◆

①三月二十一日(金・祝)に仏教婦人会総会を西光寺本堂にて行いました。まず、追弔会の法要をさせて頂き、皆様で正信偈のお勤めを致しました。そしてお食事をし、行事報告・会計報告をし、皆様の賛同をいただき終了となりました。婦人会の行事ということもあり皆さん和気あいあいとお話をされ、総会も無事に終える事が出来ました。皆様ご苦勞様でした。

②三月二十九日(土)に西光寺春季永代経法要を厳修致しました。一時三十分から開關法要(施主 毎川隆義様)をさせて頂き、引き続き追弔会・春季永代経法要を行い、皆ともどもに先に亡くなられた方々を思い偲ばせて頂きながらお念仏を致しました。ご法話は、御講師の清岡隆文先生にお越し頂きまして、楽しく解り易くお話をしていただきまして本当にあつという間の時間でした。総代様はじめ役員の皆様、仏婦の皆様、そして講師の皆様、年番の皆様本当にありがとうございます。

## ♪あとがき♪

いばらきひがしそ

### 茨木東組について

婦人会総会で御質問がありましたので、少し触れたいと思います。

全国にある一万あまりの浄土真宗の寺院のうち、大阪には八五七の寺院数があります。それをすべて統轄することが困難なので、四十一の組(そ)にわかれています。その中で国道一七一号線より東側にあるお寺の群を茨木東組(いばらきひがしそ)といいます。

西光寺を含む全十八カ寺のお寺で構成されており、各年の聖跡巡拝旅行や各寺院の総代で構成されている総代会の日帰り旅行、毎年行われる念仏奉仕団など、茨木東組の十八カ寺の住職とそのご門徒とで、親鸞聖人の開かれた浄土真宗のみ教えを共に味わう仲間の団体であり

ます。

ちなみに国道一七一号線より西側にある浄土真宗のお寺の群を茨木西組(いばらきにしそ)と申しております。

茨木東組のお寺は次の十八カ寺です。

- ① 常稱寺 (じょうしょうじ) 中総持寺町
- ② 西福寺 東太田
- ③ 称名寺 総持寺
- ④ 光明寺 総持寺
- ⑤ 西光寺 西河原
- ⑥ 誓源寺 (せいげんじ) 庄
- ⑦ 西慶寺 (さいけいじ) 橋の内
- ⑧ 光照寺 戸伏町
- ⑨ 西法寺 中村町
- ⑩ 称名寺 主原町
- ⑪ 宗慶寺 (そうけいじ) 中津町
- ⑫ 勝光寺 水尾
- ⑬ 佛誓寺 玉瀬町
- ⑭ 西方寺 真砂
- ⑮ 佛願寺 沢良宜東町
- ⑯ 安樂寺 沢良宜浜
- ⑰ 専念寺 (せんねんじ) 沢良宜浜
- ⑱ 蓮照寺 (れんしょうじ) 沢良宜西

【組長(そちよう)】

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>